

新年会・記念講演会

(新年会記念講演会)

令和2年1月18日午後3時~4時)

会場：はかた都ホテル横、博多第1ホテル2階

総会：2020年1月18日(土) 13:00~15:00

講演会：2020年1月18日(土) 15:00~16:00

産業支援フォーラム 新春講演会

「災害時に注目されるべき健康生成要因」

—災害時に健康被害を予防するために—

お茶の水女子大学名誉教授 波平 恵美子(なみひら えみこ先生)

企画別添 :レジュメの通り

(社)九州産業コンサルタント協会における災害対策活動の経緯

(社)九州産業コンサルタント協会における災害対策活動の経緯と取組

((社)九州産業コンサルタント協会の取り組みの事例)

①2011年3月11日の東日本大震災による津波原子力大震災、放射能(Cs)による汚染土壌の封じ込めによる河川、水道水、源焼却灰等中の無害化処理技術の開発(当会理事長 特許取得 2013年)

②熊本地震対応熊本市ごみ処理場代替施設、西部クリーンセンター取次支援阿蘇市ごみ処理支援、内牧公園防災調整池

③九州大学本部 安全防災地域避難施設のあり方検討、100年ホール安全計画見直し支援、安全防災分野における技術士への期待大学等の安全・衛生、避難、

自衛隊、消防隊、警察、自治体職員による被災者の救助、救援、医師・看護師等による救護、医療、看護が行われる中、遺族、被災者に寄り添う専門家等の総合的なメンタルヘルストレーナ育成、心のケア、復興への道筋に明かりを灯すことを切望、

今後とも社会の要請にこたえるために国土強靱化計画、防災新技術開発、安全防災分野における技術士、安全・衛生コンサルタント等への一層の期待と本協会の総合力が問われている。本講演会はその一環として企画されています。



波平 恵美子(なみひら えみこ)1942年、福岡県生まれ。

元・日本民族学会(現・日本文化人類学会)会長。お茶の水女子大学名誉教授。文化人類学専攻。九州大学教育学部卒業。テキサス大学大学院人類学研究科(1977年、Pf.D取得)。九州大学大学院博士課程単位取得満期退学。佐賀大学助教授、九州芸術工科大学(現・九州大学)教授、お茶の水女子大学教授を歴任。日本文化論(日本民俗学)における「ハレ・ケ・ケガレ」という三項対置の概念を示した。主な著書に『病気と治療の文化人類学』(海潮社)『ケガレの構造』(青土社)『脳死、臓器移植、がん告知』(ベネッセ)『病と死の文化』『日本人の死のかたち』(朝日選書)『いのちの文化人類学』(新潮選書)『暮らしの中の文化人類学(平成版)』(出窓社)、編著に教科書として評価の高い『文化人類学』(医学書院)がある。